

(その三)

工場又は事業場の名称	五井化成株式会社株式会社 本社工場
------------	----------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
5   1	5   2	5   9							

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

<p>対策について</p> <p>平成19年5月、VOC吸収装置の設置。</p>
--

備考 3 (2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
5   1	5   2	5   9							

(その三)

工場又は事業場の名称	日産化学工業（株） 袖ヶ浦工場五井製造所
------------	-------------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2	9	5	2						

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

1. 工程見直しで、使用溶媒を回収・再利用することで購入量を低減 原料→溶媒の1次置換→反応→溶媒の2次置換→調整→製品 (1次置換及び2次置換とも同じ溶媒である。) 従来「溶媒の2次置換」で留出される溶媒を廃棄していたが、この溶媒中の水分及び反応溶剤の残渣量を管理することで次バッチの1次置換に使用することが可能となった。
2. VOCガス除害設備設置 当工場で行う揮発性有機化合物で水溶性の有機化合物が大部分を占めますので、屋外貯蔵タンク及び製造施設から排出される水溶性の有機溶媒を吸収装置で吸収除去します。平成23年度に工事完了の予定です。

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2	9	5	2						





(その三)

工場又は事業場の名称	興亜硝子株式会社 市川工場
------------	------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
2 1	2 2	9 2	1 9	9 1	9 9				

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容(H21年度の継続推進)

1 9 : 塗料の転換検討推進

9 9 : 塗装ガン設定での技術向上による塗着効率の向上

2 (1) 項の揮発性有機化合物の排出等の量の目標展開の補足説明

①基準年度は、塗装機3台がほぼ安定稼働に入った平成15年度とします。

②目標年度、計画年度共に、使用量及び排出量が増加していますが、受注量の変動及び顧客の製品仕様等の変化が主な増加要因と考えます。

従って削減率も、目標年度、計画年度共に大幅な未達成目標となっています。

③VOC削減を最重点課題として取り組みますが製品仕様変更等によりVOC排出量の結果が大幅に変動するので原単位指標も併せて取込みVOC削減につなげます。

原単位ベースでは平成22年(20%削減)、平成23年度(20%削減)削減目標で

取り組みます。(参考)原単位=VOC排出量/塗装通過本数

備考 3 (2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
2 1	2 2	9 2	9 1	1 9	9 9				

↑ 対策4以降は追加する施策





(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社 日商グラビア
------------	-------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
12	21	31	54	55	91				

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

--

備考 3(2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
12	21	31	54	55	91				



(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社日立産機システム 習志野事業所
------------	------------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1   1	1   2	2   2	2   9	9   4	9   9				

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策4について
塗料調合時のビニール袋保護による容器の洗浄回数低減化を行います。
対策6について
ワニス・溶剤を多量に使用する製品の製造を終了します。

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1   1	1   2	2   2	2   9	9   4	9   9				











(その三)

工場又は事業場の名称	アズマプレコート株式会社 市川工場
------------	----------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1 2	2 2	2 3	9 1	9 2					

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。


備考 3 (2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1 2	2 2	2 3	9 1	9 2					





(その三)

工場又は事業場の名称	東洋合成工業株式会社 市川工場
------------	--------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 9	3 2	4 9	5 1	5 2					

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策1：*ベンゼンの使用を廃止した。
対策2：*蒸留装置#2300のコールドトラップの位置の見直し。(済み) *蒸留装置#3400の第2コンデンサー設置。(ペーパーの削減)(済み) *3系チラー装置の負荷の見直し。(負荷の分散を計画中：現状調査)(済み) *蒸留装置の第二凝縮器(アフターコンデンサー)にコールドとラップを2基増設し、 VOCをより効率よく捕捉するようにした。(済み)
対策3：*屋外タンクのドレンポット取り付け。 *TK-623タンクの遮温塗装。(済み) *TK-622タンクについても遮温塗装を行った。(済み) *屋外タンクにペーパーリターン配管を設置した。(済み)
対策4：屋外タンクのブリーザーバルブ及びエステル中和釜のベントから排出されるガスを吸着除去するため、遊休としていたPSAを再稼動した。(済み)
対策5：アルデヒド製造時のオフガス対策としてディップ式吸収塔を設置した。(済み) *目標年度(平成22年度)の使用量、排出等の量を変更しました。 理由；計画年度(平成22年度)の使用量、排出等の量について、原料は調達部、生産量は生産管理部が立てた計画を元に算出した値です。この為、目標年度(平成22年度)の使用量、排出等の量を変更しました。 *平成23年度の使用量が前年度に比べて減っているのは、現在、東庄町に新工場を建設中で本年度中の稼動を予定している為、市川工場の生産計画が若干少なくなっている為です。 また、排出等の量が目標年度と同じなのは、新工場の稼動予定が延びた時には市川工場の使用量が計画値を上回る事が予測される為、排出等の量は目標年度と同じ量に設定した。

備考 3(2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 9	3 2	4 9	5 1	5 2					

